

## 「仮想通貨・NFT もベトナム!？」

1992~2005 年はメガバンクで投資銀行業務等の幅広い経験を持つ。2007 年からベトナム・ホーチミン市で創業（海外起業）し、投資ライセンス、法務・労務、M&A など日系企業に提供中。

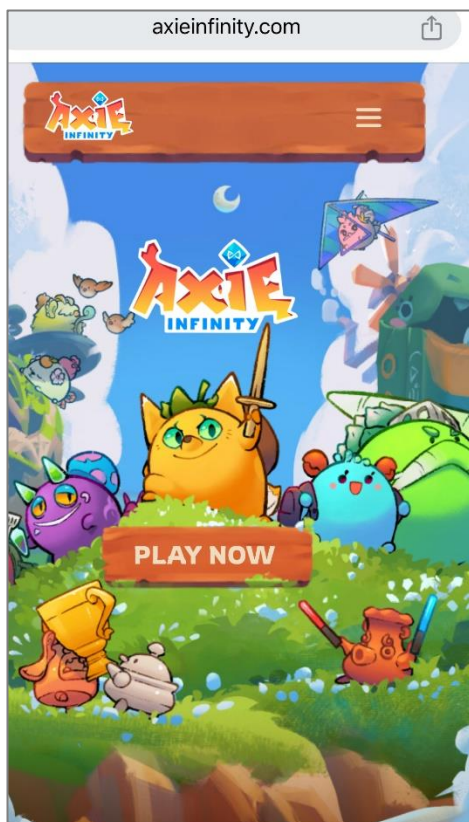


### ＜Web3とテック企業＞

日本でも、AI（人工知能）と同様に Web3※が日増しに存在感を高めていることと思います。これらを担うテック企業は、米国のシリコンバレーが有名ではありますが、ベトナムにもテック企業はあります。伝統的な製造業と比べると、テクノロジー分野でのスタートアップはベトナムでの将来性も十分にあると思われます。

### ＜NFT ゲーム「アクシー」＞

写真にある「アクシー」（Axie Infinity）というゲームをご存知でしょうか？



このゲームを開発・運営するのが、ベトナム・ローカル企業の Sky Mavis（スカイメイビス）です。このゲーム、世界で最も人気のある NFT ゲームとも言われており、世界から注目されています。

NFT

(Non-Fungible Token、非代替性トークン)とはブロックチェーン技術を活用したデジタルデータのことであり、NFT ゲームとはそのゲーム中のアイテムやキャラクターが NFT となっており、唯一無二性のあるデジタルデータに裏付けられています。ゲームを通

じてこれらの NFT が獲得でき、Play to earn（遊んで稼ぐ）といわれるように、獲得した仮想通貨の価値を高めていくという要素をゲームに内包していることに特徴があります。

### ＜Sky Mavis＞

先般発表されたスカイメイビスの決算（2021/4/30~2022/3/31）によると、売上は前年比3倍の 177 万 USD（約 2.6 億円）となる一方で、最終利益は▲1,889USD（約 28 億円）でした。赤字額は一般管理費のコスト増大によるものですが、ネット現預金の残高（現預金などの金額から短期債務の金額を控除した残高）は、約 1 億 3,000 万 USD（約 190 億円）と潤沢です。今後、この現預金の活用方法やそのタイミング、アクシー経済圏の確立や発展などが注目されるどころです。

### ＜日本企業の動向＞

輸外型・進出型ともに、日本企業からの問い合わせは活発化しています。進出型の中で一定のウェイトを占めているのが IT 事業者で、いわゆるエンジニアの件費が安いことが背景にあります。日系の IT 事業者がベトナム法人に業務委託したり、応用系のラボ型開発を委託したりすることも多く、さらに現地法人（子会社）を設立して内製化（IT 業務の受託・制作）を推進する事案も従来から多く見られます。

極めて個人的な見解で、現状はまだハードルが高いかもしれませんが、このようなテクノロジー分野における日系企業（日本人）の事業起業家が、ベトナムをスタートアップの地に選ぶという事案も出てくるのではないかと密かに期待しています。

※Web3：ブロックチェーンなどの技術を活用して、ネット利用者がデータを共有・管理しながら運用できる、次世代の分散型インターネット。

本記事は、仮想通貨や NFT の売買、それらを活用したゲームを推奨したり、あるいは、誘導する目的のものではありません。